

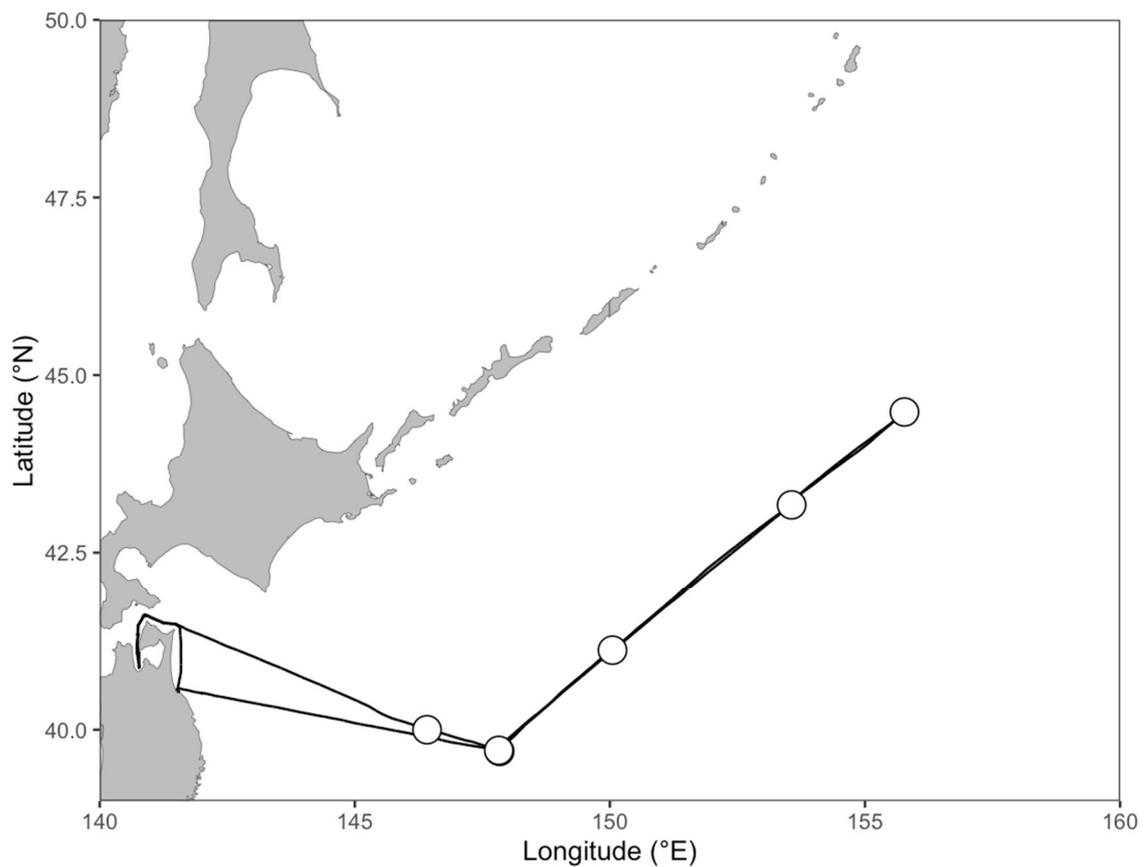
新青丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-24-17次研究航海
- * 航海名称 (和文) 水温上昇が亜寒帯北太平洋生態系鍵種ネオカラヌス個体群減少に与える影響の解明
(英文) Effect of marine heatwave on Neocalanus population, key species in the subarctic Pacific
- * 観測海域 (和文) 北海道親潮域・亜寒帯域
(英文) Oyashio and Subarctic region off Hokkaido
- * 航海期間 令和6年8月28日(水)～令和6年9月11日(水)
- * 出港日時・場所 8月28日14時八戸港
- * 入港日時・場所 9月11日10時八戸港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 親潮域・亜寒帯域の低次栄養段階生物(プランクトン群集)に夏季の昇温が与える影響を高解像度で明らかにする。
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎が@)
高橋一生・東京大学大学院農学生命科学研究科・教授・kazutakahashi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. 現場海域の物理・化学・生物環境測定
児玉武稔 (takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp), 一宮睦夫 (ichinomiya@pu-kumamoto.ac.jp)
CTD 観測及び採水、連続自動濾過器により、水温、塩分、クロロフィル *a* 濃度、プランクトン群集組成、栄養塩濃度、基礎生産速度、被食速度を測定した。
 2. 航跡上の表面環境測定
児玉武稔 (takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、
表層環境モニタリング装置 (AMEMB0) および連続自動濾過器により航跡上の表面水温、塩分、クロロフィル濃度、栄養塩濃度を測定し、生物群集把握用の試料を取得した。
 3. 動物プランクトン現存量・生理的特性の測定
高橋一生 (kazutakahashi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、
NORPAC ネット、飼育ネット、鉛直曳き多層ネットにより動物プランクトンの現存量を測定し、一部の個体は、食性解析、生理活性解析に利用した。

* 乗船研究者氏名・所属・職名

高橋一生・東京大学大学院農学生命科学研究科・教授
児玉武稔・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授
一宮睦夫・熊本県立大学環境共生学部・教授
岩滝光儀・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授
桑田向陽・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
江上賢悟・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
Wang Yixin・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
下仲雄大・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
千田唯乃・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
中野和真・東京大学農学部・学生
板井啓明・東京大学大学院理学研究科・准教授
長谷川菜々子・北海道大学 大学院獣医学研究院・特別研究員
木村莉里・北海道大学 大学院環境科学院・大学院生
谷本勇樹・熊本県立大学 環境共生学部・学生

* 航跡・測点図



実線が航跡図、白丸が観測点（計5測点）